

ロードサイド初等学校
2025年1月～3月のプロジェクト進捗報告

プロジェクト名：ウガンダのミティアナ地域の学校の生徒と女性の月経衛生管理の改善

活動内容：再利用可能な生理用布ナプキン作りの技能向上と月経衛生管理に関する知識の習得

活動場所：ロードサイド初等学校

日付：活動

- 2025年1月27日：活動 4.1 より多くの生徒への再利用可能な布ナプキン作りのトレーニング
- 2025年2月13日：活動 4.2 再利用可能な布ナプキンの形作りと裁断
- 2025年2月27日：活動 4.3 生徒によるミシンを使ったナプキン縫製
- 2025年3月10日：活動 4.4 すでに習得した地域住民と一緒に生徒へ再トレーニング

背景

2024年、ロードサイド初等学校は Global Bridge Network (GBN) からミシン 3 台と生理用布ナプキンを作るための材料の支援を受けた。きっかけは、2023年に GBN チームがロードサイド初等学校を訪問し、学校には更衣室がないこと、生理用品がないこと、安定した水源がないため衛生状態が悪いこと、学校やコミュニティ全体における月経衛生管理に関する知識や情報の不足など、生徒、特に女子が生理期間中に直面する課題を紹介したことがきっかけで実現した。

各活動の進捗状況

<2025年1月27日>活動 4.1 より多くの生徒への再利用可能な布ナプキン作りのトレーニング

30名の生徒（男子4人・女子26人）を対象にトレーニングを実施し、目標60名のうち47人が布ナプキン作りの知識を習得した。本トレーニングの目的は、脆弱な立場にある生徒たちが、汚れた布やポリ袋、紙などの安全でない素材を生理時に使わないようにし、女子生徒の欠席や中退を防ぐためである。



地域のチームリーダーが生徒たちにナプキンの一般的なサイズを説明する様子

<2025年2月13日>

活動 4.2 再利用可能な布ナプキンの形作りと裁断

生徒たちは使用材料から正確な形に布ナプキンを裁断することに成功した。



生徒たちが自分たちで裁断した型を見せしている様子

対象生徒全員にナプキン作りのスキルを身につけさせ、月経衛生管理を改善し、生理を理由に学校を休まなくて済むようにすることを目的に実施した。

<2025年2月27日>活動 4.3 生徒によるミシンを使ったナプキン縫製

生徒たちは活動 4.2 で裁断した布を使い、ミシンで縫製する実践活動を行った。

ナプキン制作の現代的なスキルを習得させ、学校および地域での月経衛生管理の向上を目指す。



生徒たちがミシンを使って再利用可能な布ナプキンの縫製に挑戦している様子

<2025年3月10日>活動 4.4 すでに習得した地域住民と一緒に生徒へ再トレーニング

ミシンを用いた再利用可能な布ナプキンの作り方を、さらに多くの生徒に指導することを目的としている。すでに布ナプキンの作り方を習得した地域住民の協力を得て、さらに多くの生徒にトレーニングを実施。月経衛生管理（MHM）を学校で推進し、すべての子どもに布ナプキン作りを学ぶ機会を提供するため、ミシンの台数が限られていることから、複数のセッションに分けて指導を行うことにした。そのため、通常は年齢別に生徒を選び、すでに習得した仲間たちの手助けを借りながらトレーニングを実施



すでに訓練を受けた地域住民 2 名と、ナプキン作りを学んだ一部の生徒たちが、他の仲間にミシンの操作方法を教えながら、質の高い布ナプキンの製作に取り組んでいる。

END